

<株式会社エフエム東京 第 503 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：令和 5 年 11 月 14 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（4 名）

ロバート キャンベル 委員長	松 田 紀 子 委員
山 口 真 由 委員	柴 崎 友 香 委員

◇欠席委員（2 名）

秋 元 康 委員	佐々木俊尚 委員
----------	----------

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生	代表取締役会長
黒坂 修	代表取締役社長
内藤 博志	取締役編成制作局長
宮野 潤一	編成制作局次長 兼 編成部長
若杉 健太	編成制作局制作部長
藤村 裕紀	編成制作局制作部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 内藤放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 180 分／45 分）  
『FM FESTIVAL 2023 サザンオールスターズ デビュー45 周年！  
「サザンとわたし」 スペシャル』  
2023 年 11 月 3 日（金・祝）16：00～19：00 放送のダイジェスト

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■ 『TOKYO FM リスナー感謝祭 in 渋谷音楽祭 2023』 実施

10月22日（日）、番組パーソナリティとTFM社員・制作スタッフからリスナーの皆様への感謝の気持ちをお伝えするイベントを渋谷を舞台に開催しました。

メイン会場となるLINE CUBE SHIBUYAでは、人気番組「安部礼司」や、平日レギュラーワイド番組のパーソナリティ陣による特番「53周年だヨ！ワイドパーソナリティ大集合スペシャル！」の公開生放送を実施。北谷公園とTOWER RECORDS 渋谷店ではAuDee番組の公開収録等を実施しました。各会場にはたくさんのリスナーが集まり、活気と熱気と笑顔に溢れ、ラジオとリスナーの距離の近さをあらためて実感できるイベントとなりました。

各会場では、当社社員が物販や会場案内、写真撮影、スポンサーからのお土産配布等に携わり、社員全員が運営スタッフのひとりとなって、リスナーに感謝の気持ちを伝えました。



▲LINE CUBE SHIBUYAにてワイドパーソナリティ大集合スペシャル！の集合写真



▲ワイドパーソナリティ大集合スペシャル！公開生放送（左）と客席の様子（右）

＜第 503 回放送番組審議会＞



▲「あ、安部礼司」の集合写真（左）と公開生放送（右）



▲会場入口設置フォトスポットのオブジェ（左）とラジオパーソナリティ体験フォトブース（右）



▲タワーレコード渋谷でのポップアップストア（左）と北谷公園の公開イベント（右）



**Tokyofm リスナー感謝祭 10.22(SUN)**

# TIME TABLE 2023/10/22 [SUN]

### LINE CUBE SHIBUYA

**13:00~ 事前応募**

「YOUNG SONIC supported by PROMISE」公開収録  
flumpool (山村隆太、阪井一生)

**16:45~ 事前応募**

「NISSAN あ、安部礼司 ~BEYOND THE AVERAGE~」公開生放送  
チーム安部礼司

**18:30~ 事前応募**

「ワイド番組パーソナリティ大集合スペシャル」  
吉田明世、住吉美紀、LOVE、山崎怜奈、ハマ・オカモト、  
中川絵美里、マンボウやしろ、浜崎美保、野呂佳代

### タワーレコード渋谷店 5F イベントスペース

**12:00~ 事前応募**

Liyuuのはつらじ (Liyuu)

**13:15~ 事前応募**

佐倉初のういすくり〜む (佐倉初)

**14:30~ 事前応募**

橋下美好のラジオ部 (橋下美好)

**15:45~ 事前応募**

No BUDDiiS (BUDDiiS)

**17:00~ 事前応募**

SUPER★DRAGONのGROW UP DRAGON (SUPER★DRAGON)

**18:30~ 事前応募**

川崎鷹也のMAGIC NOTE (川崎鷹也)

### 北谷公園

**13:30~ 事前応募/自由観覧**

TOKYO TEPPAN FRIDAY 公開イベント (中西哲生)

**16:00~ 事前応募** ※自由観覧スペースはございません。

渋谷すばるのスパラDee (渋谷すばる)

## 議題 2 : 番組試聴

### 【番組名】

『FM FESTIVAL 2023 サザンオールスターズ デビュー45 周年！

「サザンとわたし」 スペシャル』

2023 年 11 月 3 日（金・祝） 16 : 00 ~ 19 : 00 放送のダイジェスト

### 【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、11月3日（金・祝）に放送した『FM FESTIVAL 2023 サザンオールスターズ デビュー45 周年！「サザンとわたし」 スペシャル』のダイジェストです。TOKYO FM をはじめ JFN 全国 38 局が毎年“文化の日”に送る 3 時間の全国ネット特別番組『FM FESTIVAL』。毎年様々なアーティストをフィーチャーしてお届けしていますが、今年は、デビュー45 周年のサザンオールスターズ特集をお届けしました。

番組の進行は住吉美紀が務め、リスナーから多数寄せられた「サザンとわたし」にまつわるメッセージをサザンナンバーとともに紹介。そして、16 時台、17 時台、18 時台後半には桑田佳祐のロングインタビューをオンエア。サザン 45 周年の足跡、思い出深いサザンナンバー、曲作りの裏側、故郷・茅ヶ崎やラジオへの想いなど、肉声ではあまり語られることのなかった心の内、エピソードが当番組で明かされました。さらに原 由子からのスペシャルコメントのほか、TOKYO FM のパーソナリティ陣の、ハマ・オカモト、ホラン千秋、リリー・フランキーたちからのサザンオールスターズへのお祝いメッセージもオンエアしました。



▲桑田佳祐と住吉美紀

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○非常に面白く拝聴した。サザンオールスターズの楽曲には、常にその時々懐かしい思い出があり、曲が流れると思い出される。活動期間がとても長いこともあり、それぞれがそれぞれの歴史を重ねるということも多いだろう。番組内で「マンピーの G☆SPOT」が流れていて、自身も小学生の時に、親に『「マンピーの G☆SPOT」って、どういう意味?』と尋ね困惑された顔をされたのがとても印象強く残っていて、番組の試聴とともに思い出された。そのような尖った楽曲も歌っていた桑田佳祐氏が、故郷を「遠いものほど今、鮮やかに蘇る年齢になりました」と言っていて、自分自身も重ねてきた年月を、楽曲とともに考え思いにふける機会にもなった。

○何よりも出色だったのはロングインタビュー。これは、サザンオールスターズの記録としても非常に貴重なのではないかと思う。メンバー内の関係性だったり、ともすれば、ある種の不協和音ともとられかねないような話だったり、楽曲に批判があったことがある、など、かなり突っ込んだ話をしていて。また、住吉美紀氏がインタビュアーとしてとても品が良くて聴きやすかった。少しネガティブな話題になったときも、住吉氏の気遣いが感じられて、桑田氏もそういう部分に話しやすさを感じるのか、ここまで話すんだ、と思うほど踏み込んで話していたように思う。もう少し欲を言えば、「ビートルズとローリングストーンズの方向性の違い」「メンバー内でこの人にはこういう話し方をしないといけない」というのは具体的にはどういうことだったのか、もう少し踏み込んで聞いてほしかったように思う。だが、ここで踏み込むか踏み込まないかは難しいところ。個人的には聞きたかったが、あえて聞かないことを選択することで、桑田氏が安心して話せたということもあるかもしれない。番組自体もとても品のある番組になっていたと思う。

○いちサザンファンとしても楽しく拝聴した。まずはこの番組を制作したことにお礼を言いたい。また、私の母は 80 歳でサザンオールスターズのファンでライブにも行っている。そんな母の運転する車の中で、デビュー当時頃からずっと聴き続けているので、様々なファンの方々が「サザンと私」というテーマで自身と楽曲との思い出をたくさん語っていましたが、私自身にもたくさんある。多分、サザンオールスターズのことを嫌いだという人は世の中にはいないのでは?と思える国民的バンド。熱心なファンでなくても、この曲は知ってる、歌える、という意味では本当に稀有な唯一無二の前期高齢者バンドだと思う。「サザンと私」のエピソードがたくさん寄せられたと思うので、老若男女、様々な人の人生に、仕事で大変な目に遭ったときに聴いて鼓舞された曲、ある曲がきっかけで人生の転機になったなど、それを取り上げて小説にするとか、コミック化するとか、十分に成り立つのではないかと思った。

○3 時間の番組のうち、冒頭は住吉美紀氏のテンションに違和感を感じてしまい、桑田氏のトークの音量を上げてほしい、と思って聴いていたが、段々と神がかって来て、桑田氏の頭の中をうまく引き出してくれたな、と思った。桑田氏が発した言葉をうまく住吉氏がフォローして、その言葉を受けてまた桑田氏から深い発言が出てきて、住吉氏のインタビュアーとしての素晴らしさを感じた。

○桑田氏がライブで見せるお茶目で謙虚でかわいらしくて、少しいかがわしい部分がすごくよく表れていて、桑田佳祐という人間を様々な側面から聴くことができた 3 時間だった。

○世代的に、私の周囲にはサザンオールスターズのファンがたくさんいて、しかし私自身は周囲のファンに比べそこまで熱心に聴いていたわけではなく、むしろあまり知らないのではないかと思いながら番組を聴いたが、いざ番組を聴いてみると、流れてくる曲を全て知っていて、こんなにもサザンオールスターズを知っていたということに衝撃を受けた。45 周年ということは、物心ついてからの人生の全ての時間にサザンオールスターズの曲が存在していて、いつも流れていたんだということを改めて実感した。どの曲を聴いても、自分にも思い出やその時代の記憶と結びついて、思わぬところで忘れていたことが蘇ったり。聴けば聴くほどそういう瞬間がたくさんあって、こんなにも自分の人生とサザンオールスターズの楽曲が結びついているのかと驚きがあった。

○実はサザンオールスターズの CD は 1 枚も持っていないが、どの曲も歌えるくらい全部知っているというのは、ラジオやテレビ、様々なところでサザンオールスターズの曲がかかっていたということ。自分で意識して曲をかけなかったのに、歌えるくらい覚えていて、たくさんの人と共有することができる。世の中全体に愛されているということが改めて分かり、衝撃があった。また、桑田氏の話がとても良かった。真摯にストレートに、特に創作の部分が、上から目線でもなく、気取ったりひねったりすることもなく、ストレートに話していたのが印象的だった。

○閃いたり、降ってきたり、ということは、創作に関わる人はジャンルを問わず言うことが多いが、そうではなく、曲作りとはいろいろなことの組み合わせという話をしていて、そして、番組の終盤で、植木等氏、浅川マキ氏など、どういうものに影響を受けてきたか、という話が出てきて、大変腑に落ちた。また、その時代時代の音楽だけじゃなく、いろいろな世の中のことも吸収して、それを曲に反映しているんだということが分かって、同時代をこんなにも共有してくれている音楽があるんだと、単に音楽というだけじゃなく、45 年間のいろいろな音楽と人と社会の結び付きみたいなことをすごく考えさせられる番組だった。

■確かに、もう少し突っ込んで聞きだしたほうが、ということが制作陣にもあった

<第 503 回放送番組審議会>

が、これまでの桑田氏と住吉氏の関係値、例えば桑田氏が番組に出演できない時に住吉氏が代わりを担ったなど、そういうものがあって、今回、住吉氏も桑田氏の人としての想いを引き出せるようにとインタビュアーを務めてくれた。音楽専門誌のインタビューとは違った、リラックスした言葉を引き出せた番組になったと思う。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「ドライバーズインフォ」

11月25日(土) 5:55~6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>